

西暦 2022 年 12 月 1 日

山形大学医学部附属病院において診療を受けている、受けたことのある方、ご家族の方、ご親戚等の方へ（研究に関する情報）

当院では、下記の研究を実施しております。この研究は、通常の診療または過去に実施した研究で得られた試料や情報（以下、「臨床情報」という。）を用いて行います。

この掲示によるお知らせの後、臨床情報の使用を許可しない旨の、ご連絡がない場合には、研究へのご理解をいただいたものとして実施します。

なお、個人が特定できる情報は研究には利用しません。また、研究データ上にも残りませんので、研究の実施により、あなた、またはあなたのご家族・ご親族等の個人情報が流出することはないと考えております。

また、研究の成果を公表するときにおいても個人情報を提示することはありません。

皆様方におかれましては、研究の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、問い合わせ先まで、ご連絡ください。

①研究課題名	Primary diffuse large B-cell lymphoma of CNS (PCNSL)における迅速捺印細胞診の有用性
②倫理審査委員会承認番号	2022-251
③研究期間	西暦 2023 年 1 月 1 日から西暦 2025 年 3 月 31 日まで
④研究の目的	<p>画像診断上、脳腫瘍の PCNSL と膠芽腫は鑑別が難しいとされています。両者の治療は大きく異なりますので、手術中にある程度どちらの診断になるか方向性を定める必要があります。</p> <p>通常の診断であれば、両者の鑑別に免疫染色による検討を用いるのですが、迅速組織診断では免疫染色を実施することは時間的に困難です。そこで、我々はパニニコロウ染色の迅速捺印細胞診における 5 つの検討項目を加えることによって、PCNSL 正診率が上がることを明らかにしたいと考えています。</p> <p>この研究により、パニニコロウ染色の迅速捺印細胞診で PCNSL 正診率が上がるのが明らかになれば、患者さんにとってより適切な治療を提供することが出来るので</p>

	はないかと考えています。
⑤この研究の対象となる方	2009年1月1日から2022年3月31日までに本院に来院しPCNSLもしくは膠芽腫の診断を受けた方
⑥研究の方法	この研究では、PCNSLもしくは膠芽腫という診断を受けた方を対象に、診断した当時の病理情報を用います。
⑥利用する情報	<ul style="list-style-type: none"> ● 細胞診断 ● 細胞所見；結合性，核線，細胞質突起，核異型，lymphoglandular bodies ● 病理診断 ● 免疫染色の所見；CD20，CD79a，Ki-67など
⑦他機関への臨床情報の提供	本研究の実施にあたり、他の研究機関に臨床情報が送付されることはありません。
⑧臨床情報の管理責任者	管理責任者氏名：大江倫太郎
⑨臨床情報を利用する者	研究責任者氏名：二口 充 主任研究者氏名：大江倫太郎 分担研究者氏名：志田 愛実
⑩臨床情報の利用停止について	<p>いつでも、この研究にあなた自身の臨床情報を使用しないよう求めることができます。臨床情報の使用を認めなかったとしても、あなたに不利益が生じることはありません。申し出をされる場合は本人又は代理人の方より、下記の連絡先までお問い合わせください。</p> <p>ただし、使用停止を求めた時点で、研究結果が論文などで公開されていた場合には、完全に臨床情報の使用を停止できないことがあります。</p>
⑪問い合わせ先	山形大学医学部附属病院 病理診断科 〒990-9585 山形県山形市飯田西 2-2-2 TEL：023-628-5238 Fax：023-628-5240 E-mail：r-ooe@med.id.yamagata-u.ac.jp 担当者氏名：大江倫太郎

以上